

平成 29 年 1 月 24 日

広島市立大学COC+平成29年度事業計画（案）

1 平成 29 年度事業計画の内容

(1) 教育カリキュラムの整備・推進

事業	内容
① 教育カリキュラムの実施	<ul style="list-style-type: none"> ●地域貢献特定プログラム科目の平成 29 年度科目の開講（「<u>地域課題演習</u>」「<u>地域再生論入門</u>」「<u>地域再生論</u>」「<u>観光情報学</u>」） ●地域貢献特定プログラムの科目を追加する ●平成 30 年度開講講座の準備（「<u>地域実践演習</u>」）
② 単位互換制度の実施	●参加校間の協定に基づき単位互換を実施する
③ 全学COC+研修会	●全教職員への研修を 2 回実施する
④ COC+フォーラムの開催	●事業協働地域に呼びかけ 1 回開催する
⑤ 企業等へのインターンシップの促進	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の企業・自治体へのインターンシップを進める ●地域の企業を知る機会を増やす取組を検討する

(2) 観光関連データベースの構築と活用

事業	内容
① データの収集と運用	<ul style="list-style-type: none"> ●各種データの登録を概ね完了し、教育研究素材として「<u>観光情報学</u>」や「<u>地域課題演習</u>」などで活用する ●セキュリティを含めた運用方法を調整し、関係機関への閲覧を開始する

(3) 教育研究事業の推進

事業	内容
① 宮島の教育研究拠点での活動	<ul style="list-style-type: none"> ●アートプロジェクト等による制作、展示 ●「<u>地域課題演習</u>」等の講座やセミナー ●参加校との協働教育研究事業等



② 基町の教育研究拠点での活動	●「M98」「M98 <make>」「M98 <eat>」を活用した基町プロジェクトによるコミュニティの再生を目指す地域デザイン活動等
③ アートプロジェクトの実施	●宮島と広島市中心部に加え、 <u>新たに北広島町、安芸太田町、尾道市において芸術活動を展開する</u>
④ 参加校による協働研究事業の実施	●地域での教育研究事業を、 <u>連携を強化して実施</u>
⑤ 参加校等による観光に関する教育研究の連携	●地域における <u>観光に関する学生の研究発表の支援と教育研究者のネットワークの醸成</u>
⑥ 参加自治体でのサテライト講座の実施	●参加自治体の要望に応え、 <u>サテライト講座（公開講座）を提供・実施する</u>
⑦ COC+特定研究等の実施	●学内の競争的研究資金（COC+特定研究等）の募集や研究を継続して実施する

(4) 事業運営

事業	内容
① 推進組織の運営等	●COC+推進組織の運営 ●外部評価委員会の開催
② ニュースレターの発行	●3回発行
③ ホームページ等による情報発信	●掲載情報の充実を図り、適宜メディアへの情報提供を行う

2 平成 29 年度の特記事業

(1) 「地域課題演習」の開講 【新規】(教育カリキュラムの整備・推進—教育カリキュラムの実施)

<p>科目名・ 科目区分</p>	<p>地域課題演習 (新規科目) 全学共通系科目—広島科目 (履修対象 2 年次、1 単位、集中講義として開講)</p>
<p>科目の趣旨・ ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・COC+の対象地域を学習フィールドとする演習を学部横断的に実施する。 ・「地域実践演習」に向けた基礎的学習として、地域の現状を分析し、魅力や課題を発見する力を養成する。 ・地域への入門演習として「地域の現場を見る、地域を好きになる」ことに重点を置く。
<p>演習テーマ (候補)</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 瀬戸内海の水産と魚の楽しみ方を知る [呉市、広島市] ② 瀬戸内の島をPRする観光映像を作る [竹原市大久野島] ③ しまなみ海道を自転車で走って行動情報を収集する[尾道市しまなみ海道] ④ 中島町・基町ツアー (戦前戦後の都市計画や建築群等を巡る) [広島市] ⑤ 都市河川の活用と水遊体験 [広島市] ⑥ 中山間地域の食文化とライフスタイルを知る [安芸高田市] ⑦ 宮島の歴史・文化を知り、観光地としての今を考える [廿日市市] ⑧ 半島地域の自然・歴史・味を感じる [上関町] ⑨ 尾道の歴史や文化を探訪する [尾道市] ⑩ スマホを使ってスタンプでGO [岩国市] <p>学生が上記の 10 テーマの中から選択し、グループで地域についての事前学習・現地活動・事後学習を行う。指導教員は約 20 名。</p> <p>※ 履修希望者が少ない場合は実施しないテーマもある。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

(2) 「地域再生論入門」の開講 【新規】(教育カリキュラムの整備・推進—教育カリキュラムの実施)

<p>科目名・ 科目区分</p>	<p>地域再生論入門 (新規科目) 全学共通系科目—総合科目 (履修対象1・2年次、2単位)</p>
<p>科目の趣旨・ ねらい</p>	<p>人口減少、グローバル競争の激化等、厳しい外部環境に直面する中でも、生き生きとした地域再生の現場があることを、事業協働地域での取材等により把握し、都市と中山間地域が近接する本地域の魅力と活力を学生に伝える。</p>
<p>講義構成</p>	<p>地域再生について、「しごと」「暮らし」「ひと」の観点から捉え、都市と中山間地域という異なる資源と環境を有する2つのエリアを踏まえ、以下の構成とする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="443 815 1018 1711" style="width: 65%;"> <ol style="list-style-type: none"> ① 地域資源の活用による産業化 ブランド化、六次産業化の取り組み、法人経営、交流拠点の活用による第一次産業の高度化に向けた取り組み等。 ② 都市型産業を興す SOHOの創出やそのための拠点の構築、企業連携による新商品開発やブランド化、中心市街地での産業創出の取り組み等。 ③ 小さな拠点とネットワーク 中山間地域における持続性のある暮らしの構築をめざし、生活交通や生活拠点機能の確保の取り組み等。 ④ コンパクトシティ 都心再生、公共空間活用による若者文化の創出、エリアリノベーション、郊外住宅団地の再生の取り組み等。 ⑤ 田園居住とITやアートによる活性化 田園回帰志向を踏まえた移住やIT企業の移転、アートによる活性化の取り組み等。 ⑥ 人的パワーの創意工夫・協働 くらしを支える住民自治組織等の「新たな公」、ソーシャルキャピタル、地域おこし人材の育成・活用等。 </div> <div data-bbox="1066 667 1385 972" style="width: 30%; text-align: center;"> </div> </div>

(3)アートプロジェクトの実施

【拡充】(教育研究事業の推進)

プロジェクトの統一テーマを「広島ニュートラベル」とし、瀬戸内、広島市都市部、中山間地の各地域において、芸術学部が参加大学や地域と協働しながら、作品制作・展示・ワークショップ、地域活動等を実施する。各エリアには、「ニュートラディショナル」、「ニューコミュニティ」、「ニューライフ」、「ニューストーリー」のサブテーマを設定し、次のプロジェクトを実施する。

【全体テーマ】「広島ニュートラベル」

エリア 「サブテーマ」	プロジェクト	内 容
廿日市市 宮島 「ニュー トラディショナル」	版画を用いた宮島観光 マップ(宮島双六)の制 作と研究	宮島の歴史や伝統文化、地域特性をテーマに魅力資 源のリサーチと木版画ワークショップの開催
	宮島ものづくり産業 復興プロジェクト	宮島轆轤の技術の継承、宮島の伝統産業のリサー チ、轆轤道具と材料の研究
	宮島アーカイブプロジ ェクト	宮島彫り等の伝統産業に関わる職人の技術や歴史 等をテーマにしたアーカイブ映像制作と写真記録
	日本画宮島プロジェク ト	宮島をテーマとした日本画の創作のための現地調 査と企画
	染織宮島プロジェクト	宮島をテーマとした染織工芸による創作のための現 地調査と企画
広島市 基町 「ニュー コミュニティ」	基町プロジェクト (コミュニティの再生を 目指す地域デザイン活動)	<ul style="list-style-type: none"> ・「もとまちカフェ」の実施(広島修道大学との協働) ・創作スタジオ「M98<make>」を設置し、未来の基町を考える模型を制作 ・基町の歴史や魅力を紹介する「基町写真展2」を開催 ・シンポジウム「広島基町高層アパートと大高正人」の開催(文化庁共催) ・キッチンスタジオ「M98<eat>」を設置し、グローバルキッチンプロジェクトを月1回開催(安田女子大学との協働)
北広島町 大朝 「ニューライフ」	筏津プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・彫刻専攻と立体造形専攻の学生が創作活動スペースの筏津芸術村に滞在し、現地の材料を使って作品を共同制作する。 ・日本画専攻の学生が中山間地域の自然をテーマにした作品を制作する。 ・作品を筏津芸術村等で展示

<p>安芸太田町 加計 「ニューライフ」</p>	<p>たたらプロジェクト</p>	<p>安芸太田町を中心とした地域特有のたたら製鉄文化を学習し、鉄をテーマにした作品制作と展示を行う</p>
<p>尾道市 「ニュー ストーリー」</p>	<p>尾道プロジェクト</p>	<p>尾道市立大学との協働プロジェクトを実施。 ・尾道アーティストインレジデンスに滞在するアーティストの空き家再生プロジェクトに市大生と尾道市大生が協働し、ワークショップや作品制作等を行い、その成果を AIR 尾道の展示スペースで発表。</p>



(4) 協働研究事業の実施

【連携を強化】(教育研究事業の推進)

校名	事業名(またはテーマ)
広島大学	世界遺産宮島を構成する弥山原始林の価値を確認し、歴史的・文化的資源と一体となった保全・活用を考える
尾道市立大学	アートプロジェクトの実施
広島経済大学	学生による観光資源等の再発見と発信 (廿日市市宮島、呉市下蒲刈、上関町等)
広島工業大学	広島工業大学地域環境宮島学習センター等における 「宮島・土曜講座」
広島国際大学	中山間地域と島しょ部との交流による地域活性化プロジェクト (安芸太田町四合、呉市豊島、東広島市黒瀬等)
広島修道大学	基町プロジェクト「もとまちカフェ」への参画
安田女子大学	基町プロジェクト「グローバルキッチンプロジェクト」への参画
広島商船 高等専門学校	島しょ部における高齢者健康調査(大崎上島町)

(5) 観光に関する教育研究の連携

【新規】(教育研究事業の推進)

COC+参加校等における、観光学の教育研究者や観光関連科目を学ぶ学生の連携を促進し、学生の研究発表の支援や教育研究者のネットワークの醸成を進める。

- 【予定する内容】
- ・観光学の教育研究者への参加の呼びかけ(COC+参加校以外も含む)
 - ・学生の研究発表会の共同開催による交流
 - ・教育研究者のネットワークによる観光に関連した事業(自治体担当者との意見交換会や公開講座の開催等を想定)

(6) 参加自治体でのサテライト講座の実施

【新規】(教育研究事業の推進)

COC+事業の一環として、参加自治体の要請に応え、サテライト講座を実施する。

目的は、①参加自治体住民への生涯学習機会の提供による地域貢献、②COC+参加校の紹介(高校生を対象とした講座も実施し、COC+参加校に対する関心を高め、地域内進学への呼び水とする)。

- 【予定する内容】
- ・要請のあった自治体において、当面、本学が中心となって開講する。
 - ・実施自治体や講座提供校大学の拡大について、希望に基づき、調整を進める。